

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都港区麻布台一丁目3-1

今週の注目材料=日本と英国のCPIなどに注目

2026年10月19日

19日からの週は、それほど目立った米経済指標の発表予定がなく、米FRBも17日からFOMC前のブラックアウト期間に入っているため、FRB関係者の発言機会もありません。そうした中、米国以外の材料として日・英の物価統計が注目されています。21日に英物価統計、23日に日本の全国消費者物価指数（CPI）がそれぞれ発表されます。

英国国家統計局（ONS）が発表する21日の9月英消費者物価指数（CPI）は、原油高の影響などを受けて高い伸びが見込まれています。前回8月分は前年比+3.1%と、3月の+3.3%以来の伸びとなりました（市場予想と一致）。英中銀（BOE）のインフレ目標はCPI前年比+2.0%となっており、目標から上下1%ポイント以上乖離すると、総裁が財務相へ理由や対応を説明する公開書簡（オープンレター）を送付する義務が生じるため、許容上限（3.0%）を超えた水準となりました。6月に+2.6%まで鈍化した英CPIは、7月に+2.9%、8月は+3.1%と再び加速しています。ガソリン価格や夏休み期間の航空運賃の上昇が全体を押し上げました。一方、エネルギーや食品などを除いたコアCPIは前年比+2.6%、中銀が基調的なインフレ圧力として注視するサービスCPIも+3.4%といずれも7月から横ばいにとどまり、これらが9月会合での6会合連続据え置きにつながりました。

今回の市場予想は総合CPIが+3.4%と一段の加速が見込まれており、予想通りであれば昨年12月以来の高水準となります。コアCPIも+2.8%、サービスCPIも+3.6%へそれぞれ伸びが加速する見通しです。同時に発表される小売物価指数（RPI）前年比は8月の+3.4%から+3.9%へ、生産者物価指数（PPI・産出）も+3.7%から+4.4%へ大幅な上昇が予想されています。

ペイリー英中銀総裁は前回会合後の9月17日、英BBCのインタビューで「インフレ圧力が高まれば、目標である2%へ近づけるために金利を引き上げる必要性がより高まる」と発言しました。9月の据え置き決定は6対3（3名が利上げを主張）でしたが、市場予想通り物価の加速が確認され、据え置き票を投じていた総裁が利上げ支持へ転じれば、他のメンバーも追隨して一気に利上げ多数派へと傾く可能性があります。その場合、11月会合での利上げが確実視されるだけでなく、12月会合での連続利上げ観測も強まりそうです。

短期金利市場ではすでに11月会合での利上げを約92%織り込んでおり、こちらの上振れ余地は限定的ですが、12月の連続利上げについては47%にとどまり、年内は1回利上げにとどまるとの見方がわずかに過半数を占めています。物価高を受けて12月利上げの織り込みが進むようであれば、債券高を後押しする要因になりそうです。

続いて、日本の総務省が発表する9月の全国消費者物価指数です。前回8月は、日銀の政策判断の目安となる生鮮食品を除くコア前年比が+1.7%と、7月の+1.8%（市場予想も+1.8%）から小幅に鈍化しました。ただ、この鈍化は政府による電気・ガス料金補助の再開による影響が大きく、電気・都市ガス代がCPI全体を0.1%ポイント押し下げています。生鮮食品とエネルギーを除いたコアコアは+1.9%と前月横ばいでしたが、これはコメ価格の一服が影響しており、全食料とエネルギーを除いた米国型コアでみると7月の+1.4%から+1.6%へと伸びが加速しています。

今回の9月全国CPI（生鮮除くコア）の市場予想は+2.1%と、昨年12月以来の2.0%超えが見込まれています。先行指標となる9月の東京都区部CPIは前年比+2.7%と、8月の+1.8%から大幅に加速しました。これは、東京都の水道基本料金無償化の対象期間が前年（6月から9月）と今年（5月から8月）でずれたことにより、今年9月の水道料金が前年同月比+65.6%と跳ね上がったことや、大型連休（シルバーウィーク）に伴う宿泊料の上昇などが主因です。

全国CPIは東京都区部ほど特殊要因による押し上げは大きくないものの、底堅い伸びが見込まれます。短期金利市場における10月日銀会合での追加利上げ織り込みは4%程度とほぼ皆無であり、今回の結果が10月判断に与える影響は限定的とみられますが、現在約80%織り込まれている「12月までの追加利上げ」の観測が一段と強まれば、円買い材料として意識されそうです。

山岡和雅 | ミンカブ・ジ・インフォノイド 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。

